

本日の例会（第2321回）
平成30年2月20日(火)
予 定 行 事



★皆出席表彰

瀬田川昭俊 会員（4年）

★卓 話 テーマ「私の好きな事」

卓話者：近藤 治郎 会員

略 歴：入会年月日：1993年10月4日

生年月日：1952年8月28日

職 業：(株)近藤ビルディング 代表取締役

職 業 分 類：保険代理業

ロータリーでの活動歴

1999～'00年度 第31代 幹事

2000～'01年度 出席委員

2001～'02年度 職業分類・親睦委員

2002～'03年度 プログラム・会員増強委員

2003～'05年度 会報広報委員長

2006～'08年度 青少年委員長

2008～'09年度 S A A

2009～'11年度 米山奨学委員長

2012～'14年度 青少年奉仕委員長

2016～'19年度 国際奉仕委員長

趣 味：ゴルフ

★歴代会長懇談会 13：40～ 4階 銀の間 （歴代会長）

米山記念奨学会に関する疑問点

(前回のつづき)

従来は、個人平均寄付額50%、寄付金総額40%、有資格留学生数10%。2018年度から、寄付総額50%、個人平均寄付額30%、特別寄付者割合10%、有資格者留学生10%で留学生の配分をすると言う米山からの通達を無批判にガバナー事務所が流したものです。つまり、特別寄付をしていない会員は、怪しからんと言う訳です。ご丁寧に2660地区全クラブ、米山奨学会への寄付金額と順位表が添付されています。我がクラブの特別寄付者は（46人中23人＝50%）で、普通・特別寄付合計の個人平均は23,700円です（これは2660地区平均値より上の数値です）。

いかなる寄付も、寄付する人の善意であって、数値を並べ競争意識を煽り、数値の低い事が罪悪・劣等感を抱かせるごとき通達はいかがなものでしょうか？奨学生を景品のごとく扱い、寄付が多ければ奨学生を多く配分します、との米山奨学会方針に各地区ガバナーは全員賛成しておられるのでしょうか？



竹井 三千彦

(裏面につづく)

次回例会のお知らせ [第2322回・平成30年2月27日(火)]

★卓話予定

・テーマ：「新入会員自己紹介」

・卓話者：岩元 孝樹 会員

★お食事はミリオンランチです。

★例会場 4F 真珠の間

★「岩元 孝樹 新入会員 歓迎会」開催 18：30～ 大阪マルビル1F

・来客紹介（2月6日） 4名
 （2660地区内 4名・地区外 1名・ゲスト 0名）

・出席報告

例会回数	第2317回	第2318回	第2319回	第2320回
例会日	1月16日	1月23日	1月30日	2月6日
会員総数	44名	43名	43名	43名
出席免除会員数	14名	14名	14名	14名
欠席会員数 (内、出席免除会員数)	14名 (4名)	14名 (7名)	15名 (5名)	16名 (5名)
出席率	85.70%	80.56%	73.68%	71.05%
修正出席率 (メーキャップ数)	91.43% (2名)	86.11% (2名)	_____	_____

・ラッキーくじ

賞品名 『ホルンマイアートの
 ハム・ソーセージ詰め合わせ』

賞品提供者 阿江 秀典 会員

当選者 藤井 進次 会員
 竹井三千彦 会員

参加者数 18名

・卓話

テーマ「日本人が知っておかなければならない史実」

卓話者：尾下 千明 会員

・その他

◎岩元会員の新人会員歓迎会の案内

・・・隅防 武司 親睦活動委員長

◎定例理事会⑧ 事務局にて（理事会構成メンバー）

会員名 ニコニコ事由

十河 元生 =誕生日
 隅防 武司 =ラッキーカード当選
 小山 登 =ラッキーカード当選
 最上 次郎 =ラッキーカード当選
 隅防 嘉之 =阿江さん、海の子学園ヘランドセルありがとうございました。
 高士 誠司 =ロータリー財団資金管理セミナーご出席の皆様、おつかれ様でした。ありがとうございました。
 " =本日、50周年の卓話、延期させていただき申し訳ありませんでした。
 富島 俊治 =今月、皆勤です！すいません。
 藤井 進次 =月初にあたり。
 小山 登 =月初にあたり。立春は過ぎたのに!!
 柴崎 秀樹 =先月の関東の大雪で立往生したトラックが、またもや、山形からの帰りに身動きできなくなっています。今年の冬は寒すぎです。
 竹井三千彦 =世界的株安ですが、そこで一句。『我家の菜園この冬は 蕪(株)は育たず瓜(売り)ばかり』
 瀬田川昭俊 =先週の例会時、ヒルトンの入口まで来ましたが、急用が入り、欠席となり、SAAの皆様にご迷惑をかけてしまいました。陳謝。
 河合 秀行 =岩元さん、歓迎会出席できません。出張です。申し訳ありません。
 井上 芳郎 =先週は欠席し申し訳ありませんでした。本日の理事会、よろしく願います。
 最上 次郎 =欠席、申し訳ありませんでした。
 三宅 有 =SAAに声をかけられて。
 小嶋 敦 =SAAに声をかけられて。
 増田 久弥 =SAAに声をかけられて。
 隅防 嘉之 =SAAに声をかけられて。
 尾下 千明 =急きよ、卓話を担当させていただきます。
 阿江 秀典 =今日ニコニコ、ありがとうございます。

(表面のつづき)

異論も有ると思います。異論が有るのが正常な感覚でしょう！（奨学生の割当ては受入を希望するクラブへ、ランダムに割当てれば済む事です）

2015年2660地区で奨学生の受入れを希望するクラブは45、何らかの事情で受入を希望しないクラブは38クラブ。85億の資産を持ち、3年連続黒字の米山奨学会にこれ以上の寄付を強請する事に疑問を持つクラブ会員も少なくありません

あくまでも私個人の考えですが・・・大学定員不足で中国・韓国の学生をかき集め、それらの指定校からの推薦で学生を受入れ数だけを誇る米山奨学会に疑問を持っています。また今回の様に米山からの通達でガバナー及び事務局が何の疑問も持たず、あたかも米山奨学会配下にロータリーが有るとき現状は承認出来ません。韓国は言うに及ばず、ロータリクラブの無い中国人留学生に「奉仕の精神」が理解出来るのか私の疑問は尽きることがありません。

我が国には、卒業後奨学金の返済に困窮している人が沢山おり、社会問題となっています。2015年日本学生支援機構（JASSO）の統計では返済督促された人9000人、強制執行500人。平均借入額は343万ですが、返済不能なら保証人（親や親戚）に請求されます。

日本の奨学金は貸与であり、貸与型は奨学金ではなく学生ローンと呼ぶべきです。低金利下の今日、貸与型奨学金は非常に安定したローンで、学生は有望なお客です。当事者が自己破産しても行方不明になっても、JASSOは困りません。何故なら保証人から取立てできるからです。

私達は米山奨学会を惰性で支援するのでは無く、事業内容をチェックし、より有効な運用を提言する必要があります。米山奨学会を一度見直す事も、クラブ米山奨学委員長としての役割であると信じます。